

# 本学における TOEIC-IP および放送大学の調査結果

吉永 契一郎 (大学教育センター・教育プログラム部門)

## Results of TOEIC-IP and the Use of the University of the Air at TUAT

Keiichiro Yoshinaga (Educational Program Division, Center for Higher Educational Development)

Abstract: A governmental report in 2007 recommended the introduction of TOEIC and the use of the University of the Air to enhance the quality of general education. Before the publication of the report, TUAT had already experimented them in 2006 and 2007.

According to the result of TOEIC among the TUAT freshmen, their average score is higher than the national average, and the score gap among them was much wider than had been expected. The result indicates the necessity of both remedial education and a special class for the advanced students.

In 2007, volunteer students among the Faculty of Engineering took courses from the University of the Air. They were satisfied with the learning style, the educational quality, and the wide selection of the University. Since the quality of the University was ascertained, the next issue will be of how TUAT will include such a system of education into the regular curriculum, including the acquirement of financial resources for the audit.

[キーワード：英語教育，単位互換，遠隔教育，TOEIC，放送大学]

### 1 はじめに

平成 19 年 9 月，中央教育審議会大学分科会は、『学士課程教育の再構築に向けて（審議経過報告）』を発表した。そこでは、「国際性を特色とする大学においては，外国語コミュニケーション能力の評価を厳格に行い，「卒業や進級の要件として，EAP の観点に留意しつつ客観的な到達目標を独自に設定したり，TOEFL や TOEIC などの検定の結果を活用したりする」ことが提言されている（中央教育審議会 2007, 26 ページ）。

さらに，「大学間連携を強化し，学生に対する教育内容を豊富化する」ためには，「共同プログラムの開発，単位互換などを進める。その際，基礎教育や共通教育の充実の観点から，放送大学との単位互換も検討する」とされている（中央教育審議会 2007, 21 ページ）。

本学においては，すでに平成 16 年度中期目標・計画において，「各種検定試験（TOEFL, TOEIC 等）認定科目群」の設置，および，「遠隔授業による共同教育」が提言されている。その結果，オンライン英語学習プログラム「アルク・ネット・アカデミー」が導入された他，大学の予算で TOEIC・放送大学の利用可能性調査が行われた。本稿は，その結果について，考察するものである。

### 2 TOEIC とは

TOEIC 事務局によれば，TOEIC は，全世界で 450 万人，日本においては，152 万人（2006 年度）の受験者を誇る大規模な英語力診断テストであり，企業の採用活動，社員教育においても幅広く活用されている。

2006 年度，TOEIC を活用した日本の大学の数は 436 校である。入学試験において活用した大学は 242 校，単位認定に活用した大学は 289 校，そして，大学院入試において活用した大学は 128 校となっている（TOEIC 運営委員会 a 2007, 1 ページ）。

TOEIC は，Listening と Reading から構成され，成績は，統計的に処理された 10 点より 990 点までのスコアで表示される。TOEIC・TOEFL 双方を作成している ETS(Educational Testing Service)によれば，

$$\text{TOEIC} \times 0.348 + 296 = \text{TOEFL}$$

という換算式が成り立つとされる<sup>1)</sup>。

この換算式によれば，アメリカの大学への学部留学に必要な TOEFL550 点に相当するのは，TOEIC730 点，大学院留学に必要なとされる TOEFL600 点に相当するのは，TOEIC874 点であることがわかる。

また，新潟大学 2003 年度新入生 526 名を対象に調査したところ，TOEIC とセンター試験英語の間には，0.609 という高い相関関係があることがわかっている（吉永 a 2004, 93 ページ）。

### 3 TOEIC を用いた学力調査結果

本学の新入生を対象にした TOEIC の学力調査結果は以下の通りである。

表 1 2006 年度受験状況

受験者	500
受験率	55%
平均	499
標準偏差	121.1

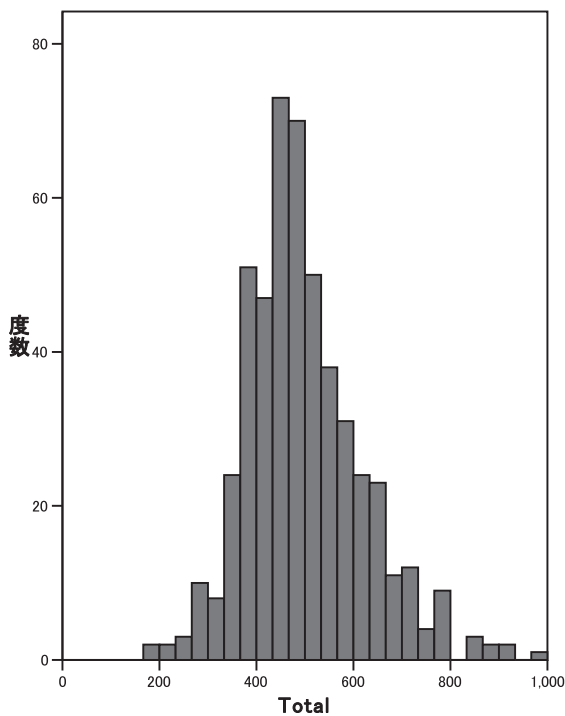


図 1 2006 年度スコア分布

表 2 2006 年度スコア内訳

	平均	標準偏差
Listening	285.7	66.6
Reading	213.3	66.5

表 3 2007 年度受験状況

受験者	658
受験率	73%
平均	488.7
標準偏差	121.2

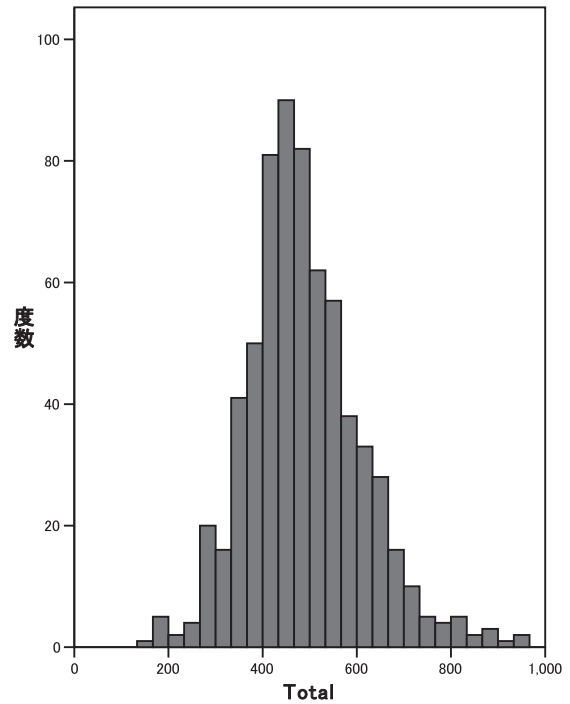


図 2 2007 年度スコア分布

表 4 2007 年度スコア内訳

	平均	標準偏差
Listening	266.7	64.1
Reading	220.9	67.5

### 4 分析

2006 年度と比較して、受験率が 18%上昇した 2007 年度は、平均点が 10 点下がっているが、それでも、本学の新入生の TOEIC 平均スコアは、全国平均 (表 5) (TOEIC 運営委員会 b 2007, 8 ページ) や他大学の新入生 (表 6) と比較すると、かなり高い。全国的に見れば、本学の学生は、入学時点で大学 4 年生程度の実力をすでに備えていると言える。

ただし、学生間に実力の差は大きい。2007 年度新入生の場合、700 点以上の学生が 33 名(5%)いるのに対し 300 点以下の学生も 32 名(5%)もいる。これは、基礎学力の不足した学生へのリメディアル教育と同時に、能力の高い学生については、入学時から上級クラスが求められていることを示す。

表5 2006年度IPテスト 全国大学生(271,857)

	Total	Listening	Reading
大学1年	401	233	168
大学2年	428	247	181
大学3年	469	269	200
大学4年	498	284	214

表6 TOEIC-IPテスト受験結果

	受験者数	平均	標準偏差	最高	最低
東京農工大学(2006年)	500	499	121.1	980	180
広島大学(2006年)	2485	458.6	111.9	940	60
新潟大学(2003年)	526	422.7	116.1	790	120
山口大学(2002年)	2023	420.5		885	155
名古屋工業大学(2003年)	860	394.6	91.7	130	865

### 5 1年後のスコア

2006年度に受験した学生のうち、1年後に再受験に応じた者は、68名である。その結果は、以下の通りであり、平均点は、23.8点の減少であった。

表7 再受験結果

	1年次	2年次
Total	529.9	506.1
Listening	300.4	281.6
Reading	229.4	224.5

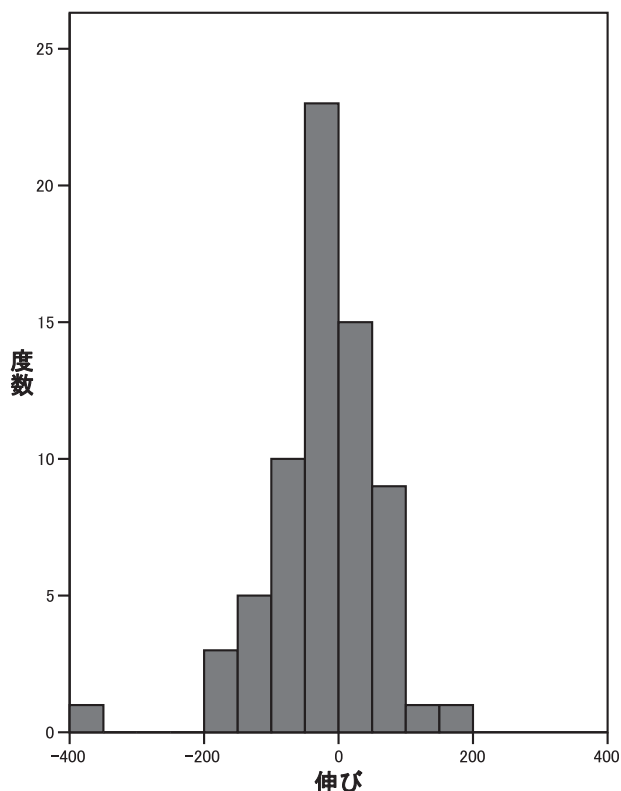


図3 再受験スコア分布

これによると、再受験をした学生は、入学時の英語の学力が平均よりも高い学生であること、1年後のスコアの落ち込みは、主に **Listening** 能力の低下によることがわかる。

さらに、この結果を他大学と比較してみる。英語教育を **TOEIC** 対策としていない広島大学において、2006年度入学生(2402名)の入学時、1年後のスコアは、それぞれ、459.3点、464.1点であり、ほとんど変化がなかった<sup>2)</sup>。

それに対して、英語教育を **TOEIC** 対策としていいる埼玉大学においては、2006年度入学生(1630名)の平均スコアが、418点から457点に伸びており<sup>3)</sup>、同様に、**TOEIC** 対策を行っている山口大学においては、毎年、入学後1年間で、スコアが70~80点伸びているとされる<sup>4)</sup>。

現在のところ、本学の英語教育は、**TOEIC** 対策を主眼としてはいない。しかしながら、1年後の英語力が、最低限、低下しないようにすることが課題であろう。

特に、2006年度に行われた大規模な卒業生調査によれば、卒業後、語学力の必要性を感じる卒業生が多く(吉永 b 2007, 58-59 ページ)、自由記述においては、英語教育における **TOEIC** 等の活用が言及されていることを指摘しておきたい。ちなみに全国規模の大学院生のスコアは以下の通りである(**TOEIC** 運営委員会 b 2007, 8 ページ)。

表8 2006年度IPテスト 全国大学院生(8,270)

	Total	Listening	Reading
大学院1年	476	263	213
大学院2年	500	275	225

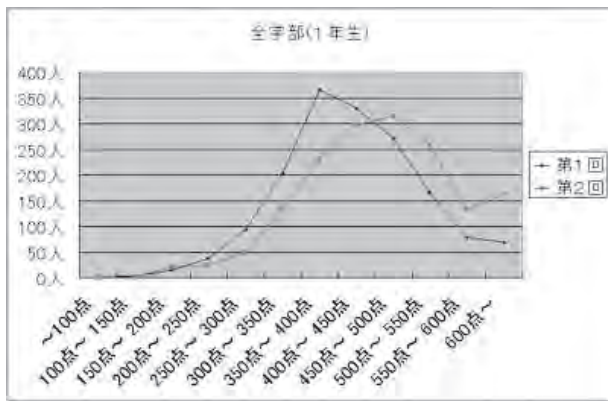


図4 埼玉大学入学後のスコアの伸び

## 6 TOEIC のまとめ

2年間の調査を通じて、本学の学生の英語力を全国的なレベルで把握することができた。その結果、全国平均よりも英語力の高い本学への入学生に対して、学力差へ対応した教育、そして、入学時の学力を維持することが課題であることが明らかとなった。

## 7 放送大学とは

1985年に開校された放送大学は、放送大学学園法に基づく大学であり、「放送等による授業を

行うとともに、全国各地の学習者の身近な場所において面接による授業等を行うことを目的とする学校法人（第三条）」である。年間8万人の学生が学び、2007年3月時点で、4万6千人の卒業生を輩出している。

放送大学における学習は、放送授業の視聴と印刷教材（テキスト）によって進められる。1科目（2単位）について、15回（1回45分）の授業が行われ、通信指導（レポート）と単位認定試験によって、成績の判定が行われる。レポートは郵送により、単位認定試験は、学習センターで行われる。また、視聴する機会を逃した授業については、学習センターで視聴ができる。

2006年度時点で、放送大学は、284大学と単位互換協定を結んでいる。他の国立大学法人における放送大学の活用状況は表7の通りである。これによると、放送大学による単位認定を1~2科目に限定している大学と編入単位と同等の扱いをしている大学の大きく二つに分かれることがわかる。

単位互換協定校に在籍する学生は、「特別聴講学生」として受講し、入学金が免除される他、授業のビデオテープ・カセットテープを所属大学で利用することができる。そのため、大学の教室で、学生が一斉に視聴するという大学もある。

表7 国立大学法人における放送大学活用事例

大学名	対象科目	認定科目	認定単位数	学費	備考
埼玉大学	全科目(外国語・保健を除く)	教養科目	4単位まで	自己負担	
奈良教育大学	ロシア語・スペイン語・韓国語	自由科目	2単位まで	自己負担	CAP制適用外
鹿児島大学	専門科目・教養科目		学部により異なる	大学負担	毎学期、50名まで
佐賀大学	全科目(除く、外国語・保健)	全学教育科目	60単位まで	自己負担	50名まで
和歌山大学			30単位まで	自己負担	
琉球大学			30単位まで	自己負担	CAP制適用外
東京海洋大学	外国語科目				海洋学部のみ
千葉大学	指定科目		4単位まで	自己負担	

## 8 放送大学のモニター聴講

放送大学については、2007年度に、希望学生をモニターとして聴講させるための予算が認められた。そのため、両学部への協力を求めたが、農学部は、単位の認定ができないという理由で、実施を見送った。工学部は、「学科共通専門科目」として認定することとし、聴講を呼びかけたところ、前期20名（1年生2名、2年生13名、3年生5名）、後期25名（1年生3名、2年生4名、3年生15名、4年生2名）の希望者があった。

対象とした放送大学の科目は、共通科目（教養科目）である。本学で開講されていない分野の科

目、本学の授業が開講されていない時間帯の科目という観点から、教育プログラム部門が、前期14科目、後期17科目を選定した。実際に、聴講希望が出たのは、以下の科目である。

表 8 前期聴講希望

科目名	人数
音楽理論の基礎	7
国文学入門	1
東アジアの中の日本文化	1
人文地理学	1
住まい学入門	3
社会福祉入門	1
人体の構造と機能	2
疾病の回復を促進する薬	3
惑星地球の進化	1

表 9 後期聴講希望

科目名	人数
問題解決の発想と表現	7
人類の歴史・地球の現在	2
惑星地球の進化	3
スペイン語入門 I	1
人文地理学	1
表象としての日本	1
世界の名作を読む	2
生活とリスク	1
韓国語入門 I	2
住まい学入門	2
世界の産業再編成	3

この選択状況によると、音楽理論や住居学、薬学、発想法、天文学、産業論などに関心が持たれていることがわかる。また、韓国語は、現在、本学で開講されていない言語であるが、例年、学生からの開講希望が高い言語である。

## 9 前期履修生の単位修得状況

前期履修生の成績は表 10 の通りである。この評価は、本学の形式に則っているが、放送大学においては、SはⒶと表記され、不合格もさらに 4 段階に分かれている。

表 10 前期聴講者の成績

評価	人数
S	4
A	3
B	3
C	5
不合格	5

放送大学によれば、履修生の平均単位修得率は 7 割弱とのことであり、前期履修生の修得率 75% は、若干、平均を上回る。また、教養科目を中心に履修する本学学生の 1 年次における単位修得率が 95% であることからすれば（松岡 2006, 4 ペ

ージ）、放送大学の成績評価は厳格であると言える。

これらの結果から判断すると、放送大学における単位修得が、本学に比較して容易であるとは言えない。出席点が考慮されないことなどを含めると、放送大学においては、適切な学習量を要求されていると言えるであろう。

## 10 前期履修生の放送大学に対する評価

前期履修生に対して、アンケート調査を行ったところ、単位を修得した者 15 名のみから回答があった。質問は、すべて賛意を 4 点満点で尋ねたものであり、結果の平均が、2 点以下および 3 点以上の項目は以下の通りである。

- ・ 自宅では集中できない(1.88)
- ・ 講義時間（45 分間）が短い(1.65)
- ・ 放送大学を教養科目として認定して欲しい(3.41)
- ・ 図書館に放送大学のビデオやテープを置いて欲しい(3.24)
- ・ 通常の教養科目の種類を増やして欲しい(3.41)
- ・ タイトル通りの講義内容であった(3.71)
- ・ 農工大にない科目を履修するにはよい(3.65)
- ・ また、機会があれば、放送大学を聴講したい(3.41)

この結果によれば、放送大学に対して、否定的な評価は、ほとんど見られない。そして、通常の教養科目であれ、放送大学であれ、選択肢を増やすことを望んでいることがわかる。

また、自由記述においては、以下の意見が寄せられた。

- ・ 自宅通学生にとって、よい制度である。
- ・ きちんとした学習が求められる。
- ・ 自宅では克己心が求められる。
- ・ ビデオに録画すると、まとめて視聴することや繰り返し視聴が可能である。
- ・ 対面授業の方がよい。
- ・ 評価方法が不明
- ・ 期末試験にレポートと同じ問題が出た。

## 11 放送大学のまとめ

これらの結果から、放送大学は、学習形態・選択枝の豊富さ・講義の質の高さ・評価基準の適切さから、本学における教養教育を十分に補完する役割を果たすことが期待できる。ただし、今回は、農学部の学生の反応を知ることができなかったこと、また、今後、放送大学を活用する場合、カリキュラム上の位置づけと聴講費用の負担のあり方など、解決すべき課題も残されている。



注

1)ただし、この換算式は、1979年に作成され、  
TOEFLはペーパー版である。

2) <http://home.hiroshima-u.ac.jp/flare/toeicip/>

3)

<http://www.saitama-u.ac.jp/event/20070301.html>

4)<http://iwabe.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/TOEICHP/tokushoku-top.htm>

参考文献

TOEIC 運営委員会 a 2007,『TOEIC テスト 入学試験・単位認定における活用状況』.

TOEIC 運営委員会 b 2007,『TOEIC テスト DATA & ANALYSIS 2006』.

中央教育審議会大学分科会 2007,『学士課程教育の再構築に向けて (審議経過報告)』.

松岡正邦 2004,「CAP 制度導入による履修状況の変化」『大学教育ジャーナル』2: 1-10.

吉永契一郎 a 2004,「学生の意識調査と TOEIC の試行結果からみる新潟大学の英語教育」『大学教育学会誌』49: 89-94.

吉永契一郎 b 2007,「東京農工大学卒業生の大学教育への評価」『大学教育ジャーナル』3: 53-67.